



ハートふる LETTER



～整形外科医・富澤英明が解説する

漢方シリーズ2～

「血流障害に疎経活血湯」

日常診療でよく経験されているかと思いますが、慢性、難治性の疼痛の多くは“冷え”を伴っています。私が漢方薬を使う一番大きな理由は、西洋医学の鎮痛薬では「冷えて痛い」と訴える患者さんを治すことができないからです。

そもそも漢方薬には、血流を改善し、身体を温める処方が多いのですが、冷える原因や痛みの出方に応じて処方は違います。今回は、その中から、いわゆる“血の巡りが悪い”方が痛みを訴える場合に使う代表的な処方を紹介させていただきます。

【疎経活血湯】（ツムラ53番）

＜適応病名＞関節痛・筋肉痛・神経痛・腰痛（全て運動器病名）

＜特徴＞「血管が細くなってしまって、あちこち痛みを訴える人」の処方です。用語として【経】は通り道という意味で、身体の血管・脈管など血流を表しています。その名の通り働きで、**疎経＝血が行かなくなったところに**、**活血＝血を行かせる**、組織を活性化させます。

＜現代医学でいうと？＞典型的には閉塞性動脈硬化症（ASO）で、「足が冷たくて痛い」と訴えている患者さんを思い浮かべていただくとよいでしょう。動脈硬化、狭小化で末梢の血流が悪くなって、組織が脆弱になっている方です。

＜どんな人に？＞この薬のレスポonder（効果が期待できる方）は、必ず慢性的に血流障害を抱えており、その上で冷えて痛む方です。

持病・既往歴が特徴的で、生活習慣病（特に糖尿病・脂質代謝異常）を契機にした動脈硬化・血管狭窄病変（狭心症や心筋梗塞・脳梗塞など）がある方がほとんどです。血管の狭窄の指摘をされていなくても、長年の糖尿病があれば末梢の血流は悪くなっていると考え、処方を考慮してもよいでしょう。糖尿病性の末梢神経障害の第一選択になります。

＜処方ポイント＞「お風呂に入ると楽になる」は重要なキーワードです。

患者さんは腰痛でも、下肢痛やしびれであっても、温めると楽になるということを必ず自覚されております。少しでも血管が広がれば、楽になるのかもしれない。

当院は透析患者さんを筆頭に、血流の悪いかかりつけの患者さんが多い病院です。心血管センターで心臓カテーテル治療や心臓外科手術を積極的に行っていますが、大事な心臓、大血管が狭窄、石灰化しているくらいですから、末梢の血流も少なからず悪いでしょう。糖尿病専門外来に通う方も同様です。そのような方が、慢性的な痛みを訴えるとき【疎経活血湯】は整形”内科”的に大変有用な処方です。



<処方の実際> 2包分2で十分です。味が苦手な方は、水ではなく、お茶やコーヒー、ココアなど、苦味のある飲みもので服用していただいても構いません。

<手術+漢方> 当院では、ASOや重症下肢虚血（CLI）は下肢動脈専門のカテーテル医が中心となって治療していますが、血行が途絶し、足先から壊死・感染、壊疽を併発している方も紹介されます。その場合、私、整形外科医が診察し、

- ①完全に切断（下腿切断・大腿切断）しキズを残さないようにするのか
- ②感染している部分だけを部分的に切除し、残ったキズを毎日の処置で維持していくのか
- ③壊疽をそのまま運命として受け入れて自然経過をみていただくのか

患者さん本人・ご家族と相談して決定しています。我々整形外科医の使命は、運動機能を回復させることです。動くための足を切断するのはかなり気の進まない手術ではありますが、それによって命が助かる方、重度の痛みから解放される方もおられるため、月1件のペースで粛々と行なっているのが現状です。

術後の縫合不全を防ぎ、さらなる末梢循環悪化の予防にも【疎経活血湯】を使ってよい印象です。特に難治性の潰瘍を処置で維持されている方は、効果が実感できるかと思えます。ぜひお試しください！


<症例> 当院の患者さん（掲載了承済み）
1年半前に発症した上肢の血流障害を起因とする、左上肢の麻痺性疼痛。冷感著明。疎経活血湯のみで回復しました。

59M

1年半前「左手が突然真っ黒になった
冷えて、痛くて、動かせない。手を切りたい」

【既往歴】
DM
心筋梗塞
(ステント3回)

発症半年間で3病院
多数検査、カテもしたが
→全て無効



↑ふれると痛くて、触れません

Rp.) 疎経活血湯53

1ヶ月目
痛み↓
触れるようになった

2ヶ月目
痛み(一) 動く！

半年
普通に使える

3年経過




《外来担当表》

整形外科	月	火	水	木	金	土
午前	富澤	富澤	栗本	/	/	富澤
午後	富澤	/	栗本	/	富澤	-



医療法人 森と海 東京
東京蒲田病院
〒144-0051 大田区西蒲田7-10-1

- ・緊急や外来受診・予約▶▶
【患者連携室】03-6892-2834
- ・レスパイト・転院相談▶▶
【患者支援室】03-6892-2812
- ・時間外・夜間▶▶
【病院代表】03-3733-0525



- 【最寄駅】
- JR蒲田駅 徒歩6分
 - 東急蒲田駅 徒歩6分
 - 蓮沼駅 徒歩4分